

# 安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：  
JIS Z 7252:2019、 JIS Z 7253: 2019

発行日 12-12-2022

改訂日 12-12-2022

改訂番号 1

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Copaltite

登録番号 情報なし

### 安全データシートの供給者の詳細 供給者

National Engineering Products, Inc.  
1950 Capitol Avenue, N.E.  
Washington, DC 20002  
電話: (301) 656-1688  
ウェブサイト: [www.nationalengineeringproducts.com](http://www.nationalengineeringproducts.com)

緊急連絡電話番号 +1-301-656-1688 (米国時間 月～金 午前9時～午後4時)

電子メールアドレス nepi.customerservice@gmail.com

### 化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 高温シーリングコンパウンド

使用上の制限 知見なし

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

引火性液体	区分 4
誤えん有害性	分類できない
急性毒性 (経口)	区分 4
急性毒性 (経皮)	区分 3
急性毒性 (吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性 (吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性 (吸入) - 粉じん/ミスト	区分 3
皮膚腐食性/刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 1A
生殖毒性	区分 1B
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 区分 3
区分 1 血液系、心臓血管系、中枢神経系、腎臓、肝臓、呼吸器。	
区分 2 視覚器、全身毒性、神経系。	
区分 3 標的臓器影響：麻酔作用。	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1
区分 1 血液系、心臓血管系、中枢神経系、腎臓、肝臓、呼吸器。	

## 区分 2 視覚器。

水生環境有害性 短期（急性）	区分 1
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 1
オゾン層への有害性	分類できない

## ラベル要素



注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

- ・ 飲み込むと有害
- ・ 皮膚に接触すると有毒
- ・ 吸入すると有毒
- ・ 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- ・ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・ 遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・ 発がんのおそれ
- ・ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- ・ 臓器の障害
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ
- ・ 眠気又はめまいのおそれ
- ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
- ・ 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
- ・ 引火性液体

以下の臓器の障害： 血液系、心臓血管系、中枢神経系、腎臓、肝臓、呼吸器。

以下の臓器の障害のおそれ： 視覚器、全身毒性、神経系。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害： 血液系、心臓血管系、中枢神経系、腎臓、肝臓、呼吸器。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 視覚器。

## 注意書き

## 安全対策

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- ・ 保護手袋／保護衣及び眼／顔面保護具を着用すること
- ・ 取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- ・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
- ・ 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること
- ・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと
- ・ 汚染された作業衣は作業場から出さないこと
- ・ 環境への放出を避けること
- ・ 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙

## 応急措置

- ・ 直ちに医師に連絡すること
- ・ 特別な処置が緊急に必要な（このラベルの応急措置についての補足指示を見よ）
- ・ ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・ 直ちに医師に連絡すること
- ・ 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること

- ・口をすすぐこと
- ・無理に吐かせないこと
- ・皮膚（又は髪）に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること
- ・皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合: 医師の診察／手当てを受けること
- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・直ちに医師に連絡すること
- ・火災の場合: 消火するために乾燥した砂、粉末消火剤又は耐アルコール泡消火剤を使用すること
- ・漏出物を回収すること

**保管**

- ・施錠して保管すること
- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと

**廃棄**

- ・内容物／容器を適用される現地、地域、国、及び国際規則に従って廃棄すること

**他の危険有害性**

- ・製品を飲み込むと失明するリスクがある

**3. 組成及び成分情報****化学物質・混合物の区別**

混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
クレゾール	1319-77-3	10-30	既存	(3)-499,(4)-57	既存	(4)-57,(3)-499
メタノール	67-56-1	5-10	既存	(2)-201	既存	(2)-201
フェノール	108-95-2	1-5	既存	(3)-481	既存	(3)-481
ホルムアルデヒド	50-00-0	0.1-1	既存	(2)-482	既存	2-(8)-379
結晶質-石英	14808-60-7	0.1-1	既存	(1)-548	既存	(1)-548
ニトロベンゼン	98-95-3	0.0171	既存	(3)-436	既存	(3)-436
アニリン	62-53-3	0.0171	既存	(3)-105	既存	(3)-105

当製品は、呼吸器感作性区分1又は1Bに分類される成分を0.1%以上1.0%未満含有している。

**2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）**

変換係数のデータが無い場合は係数は1として算出

化学名又は一般名	政令名称	金属、CN、F、その他	変換係数	含有率 %	区分	政令番号	管理番号
*	クレゾール			25	第1種指定化学物質	1-86	86
フェノール	フェノール			2.8	第1種指定化学物質	1-349	349
ホルムアルデヒド	ホルムアルデヒド			0.94	特定第1種指定化学物質	1-411	411

\* 政令名称を参照

**2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）**

変換係数のデータが無い場合は係数は1として算出

化学名又は一般名	政令名称	金属、CN、F、その他	変換係数	含有率 %	区分	政令番号	管理番号
*	クレゾール			25	第1種指定化学物質	1-110	86
フェノール	フェノール			2.8	第1種指定化学物質	1-391	349

ホルムアルデヒド	ホルムアルデヒド			0.94	特定第1種指定化学物質	1-464	411
----------	----------	--	--	------	-------------	-------	-----

\* 政令名称を参照

#### 労働安全衛生法

##### 通知対象物質

法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表3

化学名又は一般名	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
クレゾール	1319-77-3	通知対象物質	9-141	20 - 30
メタノール	67-56-1	通知対象物質		<10
フェノール	108-95-2	通知対象物質	9-474	<10
ホルムアルデヒド	50-00-0	通知対象物質	Attached table 9-548	<10
結晶質-石英	14808-60-7	通知対象物質	9-165-2	<10

##### 表示対象物質

法第57条、施行令第18条第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表3

化学名又は一般名	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
クレゾール	1319-77-3	表示対象物質	Attached table	20 - 30
メタノール	67-56-1	表示対象物質	Attached table	<10
フェノール	108-95-2	表示対象物質	Attached table	<10
ホルムアルデヒド	50-00-0	表示対象物質	Attached table	<10
結晶質-石英	14808-60-7	表示対象物質	Attached table	<10
ニトロベンゼン	98-95-3	表示対象物質	Attached table	<10
アニリン	62-53-3	表示対象物質	Attached table	<10

#### 毒物及び劇物取締法

##### 劇物

化学名又は一般名	CAS番号	区分	含有率 %
クレゾール	1319-77-3	劇物（法律第2条、別表第2、指定令第2条）	25

## 4. 応急措置

#### 一般的なアドバイス

治療を行う医師にこのSDSを示すこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

#### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。負傷者が本製品を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。一方向弁付きポケット・マスク又は他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。呼吸が困難な場合には、（資格のある者が）酸素吸入を行うこと。遅発性の肺水腫が生じるおそれがある。直ちに医師の診察／手当てを受けること。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

#### 皮膚に付着した場合

汚染された衣服及び靴を脱ぎ、直ちに石けん（鹼）と多量の水で洗うこと。直ちに医師の診察／手当てを受けること。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

#### 眼に入った場合

直ちに少なくとも15分間まぶた（瞼）の裏側まで多量の水で洗うこと。洗っている間は眼を大きく広げたままにすること。受傷部をこすらないこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診察／手当てを受けること。

#### 飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。直ちに医師の診察／手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 灼熱感。 搔痒感。 発疹。 じんま疹。 咳及び／又は喘鳴。 呼吸困難。 失明を引き起こ

徴候症状	すおそれがある。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	すべての着火源を排除すること。医療者に物質の関与を伝え、自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。負傷者が本製品を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。一方弁付きポケット・マスク又は他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。蒸気やミストを吸入しないこと。指定された個人用保護具を着用すること。詳細については項目8を参照。
医師に対する特別な注意事項	メタノールを含有しているため、経口摂取した場合は直ちに手当てを受けること。この製品は腐食性物質である。胃洗浄の使用又は嘔吐は禁忌である。胃穿孔又は食道穿孔がないか調べる。化学的解毒薬を与えないこと。声門の浮腫により窒息が生じるおそれがある。湿性ラ音、泡状の痰及び高脈圧を伴う著しい血圧低下が発生する可能性がある。過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。症状に応じて治療すること。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤。二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )。水噴霧。耐アルコール泡消火剤。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	製品及び空容器を熱源及び着火源から遠ざけること。火災の場合には、水噴霧でタンクを冷却すること。本製品は眼、皮膚、及び粘膜の薬傷を引き起こす。熱分解すると刺激性のガス及び蒸気を放出することがある。製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。
爆発性	爆発物ではない。
特有の消火方法	提供された情報に基づき知見なし。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	人員を安全な区域に退避させること。指定された個人用保護具を着用すること。詳細については項目8を参照。静電気に対する予防措置を講ずること。漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。注意！腐食性物質。人員を漏出／漏えい（洩）の風上に遠ざけること。蒸気やミストを吸入しないこと。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。安全に対処できるならば、それ以上の漏えい（洩）又は漏出を防ぐこと。環境中に放出してはならない。表土／下層土に侵入させないようにすること。製品が排水路に入らないようにすること。
封じ込め方法	リスクを伴わずに可能ならば漏えい（洩）を止めること。漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。後で廃棄するために液体流出物のかなり前方に堤防を築くこと。
浄化方法	静電気に対する予防措置を講ずること。せき止めること。不活性吸収材料で吸収すること。回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

## その他の情報

項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 安全取扱注意事項

個人用保護具を使用すること。蒸気やミストを吸入しないこと。熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。静電気に対する予防措置を講ずること。産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。製品の取扱いを閉鎖系内に限定するか適切な排気式換気を設けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。

#### 衛生対策

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋及び眼/顔面保護具を着用する。汚染された衣類及び手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯をすること。蒸気やミストを吸入しないこと。

### 保管

#### 安全な保管条件

容器を密閉して乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。熱、火花、炎及び他の着火源（例えば、点火バーナー、電気モーター及び静電気）から遠ざけること。適切な表示のある容器に保管すること。個別の国内規制に従って保管すること。現地の規則に従って保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。施錠して保管すること。湿気を遮断すること。隔離して保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

#### 設備対策

シャワー  
洗眼場  
換気システム。

#### 許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
クレゾール 1319-77-3	TWA: 5 ppm TWA: 22 mg/m <sup>3</sup> S*	5 ppm	TWA: 20 mg/m <sup>3</sup> inhalable fraction and vapor S*
メタノール 67-56-1	TWA: 200 ppm TWA: 260 mg/m <sup>3</sup> S*	200 ppm	STEL: 250 ppm TWA: 200 ppm S*
フェノール 108-95-2	TWA: 5 ppm TWA: 19 mg/m <sup>3</sup> S*	-	TWA: 5 ppm S*
ホルムアルデヒド 50-00-0	Ceiling: 0.2 ppm Ceiling: 0.24 mg/m <sup>3</sup> TWA: 0.1 ppm TWA: 0.12 mg/m <sup>3</sup>	0.1 ppm	dermal sensitizer; respiratory sensitizer STEL: 0.3 ppm TWA: 0.1 ppm
結晶質-石英 14808-60-7	TWA: 0.03 mg/m <sup>3</sup>	-	TWA: 0.025 mg/m <sup>3</sup> respirable particulate matter
ニトロベンゼン 98-95-3	TWA: 1 ppm TWA: 5 mg/m <sup>3</sup>	-	TWA: 1 ppm S*

	S*		
アニリン 62-53-3	TWA: 1 ppm TWA: 3.8 mg/m <sup>3</sup> S*	-	TWA: 2 ppm S*

## 生物学的職業性ばく露限界値

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	ACGIH
メタノール 67-56-1	20 mg/L - urine (Methanol) - end of shift	15 mg/L - urine (Methanol) - end of shift
フェノール 108-95-2	250 mg/g creatine - urine (Phenol) - end of shift	250 mg/g creatinine - urine (Phenol with hydrolysis) - end of shift
ニトロベンゼン 98-95-3	-	1.5 % of hemoglobin - blood (Methemoglobin) - during or end of shift
アニリン 62-53-3	-	0.5 mg/L - urine (Aniline with hydrolysis) - end of shift

## 環境ばく露防止

環境への放出を避けること。いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

## 保護具

## 呼吸用保護具

労働者がばく露限界値を超える濃度にさらされる場合には、認証を受けた適切な呼吸用保護具を必ず使用しなければならない。当物質の用途に適する呼吸保護具の選択は、産業衛生士に相談して決定すること。

## 眼及び／又は顔面の保護具

密封性の高い安全ゴーグル。顔面保護シールド。

## 手の保護具

適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。

## 皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。耐薬品性エプロン。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 物理的及び化学的性質に関する情報

## 外観

物理状態	液体
色	赤色、黒色
臭い	かすかな。メタノールのような臭い。
臭いのしきい値	情報なし

## 特性

	値	備考・方法
融点／凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	80 - 80 °C / 176 - 176 °F	@ 760 mmHg
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		データなし
爆発又は可燃の上限界	36	
爆発又は可燃の下限界	6.7	
引火点	87.8 - 93.3 °C / 190 - 199.9 °F	TOC
蒸発速度	7	酢酸ブチル = 1
自然発火点	423.89	データなし
分解温度		データなし
pH		データなし
粘度		
動粘性率		データなし

動的粘度		データなし
水への溶解度	100%	
溶解度		データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log値)		データなし
蒸気圧	52 mmHg	@ 25 °C
密度及び/又は相対密度		
相対密度	1.135 - 1.165	@20°C
蒸気濃度		データなし
かさ密度		データなし
相対ガス密度	1.1	(空気=1)
粒子特性		
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない

#### その他の情報

爆発性	爆発物ではない
酸化性	酸化剤ではありません

### 10 : 安定性及び反応性

反応性	通常の使用条件下ではない。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	加熱すると重合する可能性あり。
避けるべき条件	容器が熱にさらされると破裂または爆発するおそれがある。熱、炎及び火花。長期間にわたる空気又は湿気へのばく露。過剰な熱。
混触危険物質	アルカリ金属。ハロゲン化炭素。ハロゲン化アシル。酸。塩基。酸化剤。
危険有害な分解生成物	炭素酸化物。アルデヒド。有機化合物。硫黄酸化物。酸化バリウム。クレゾール蒸気。
爆発データ	
静電放電に対する感度	あり。
機械的衝撃に対する感度	なし。

### 11. 有害性情報

#### 急性毒性

##### 毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている:

ATEmix (経口)	1,047.50 mg/kg
ATEmix (経皮)	499.50 mg/kg
ATEmix (吸入 - 粉じん/ミスト)	0.609 mg/l

未知の急性毒性

混合物の 56 %は急性経口毒性が未知の成分から成る  
 混合物の 56 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る  
 混合物の 85 %は急性吸入毒性（粉じん／ミスト）が未知の成分から成る

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
クレゾール	= 1454 mg/kg ( Rat )	= 2000 mg/kg ( Rabbit )	-
メタノール	= 6200 mg/kg ( Rat )	= 15840 mg/kg ( Rabbit )	= 22500 ppm ( Rat ) 8 h
フェノール	= 340 mg/kg ( Rat )	= 630 mg/kg ( Rabbit )	-
ホルムアルデヒド	= 100 mg/kg ( Rat )	> 2000 mg/kg ( Rat )	< 463 ppm ( Rat ) 4 h
ニトロベンゼン	= 349 mg/kg ( Rat )	= 760 mg/kg ( Rabbit )	= 2.847 mg/L ( Rat ) 4 h
アニリン	= 440 mg/kg ( Rat )	= 442 mg/kg ( Rat )	= 1 mg/L ( Rat ) 4 h = 1.82 mg/L ( Rat ) 4 h

## 略語及び頭文字

Rat: ラット

Rabbit: ウサギ

**症状** 灼熱感。 掻痒感。 発疹。 じんま疹。 咳及び／又は喘鳴。 呼吸困難。 失明。

## 製品情報

**経口** 飲み込むと有害。 薬傷を引き起こす。 飲み込むと生命に危険、又は失明を引き起こすおそれがある。

**吸入** 吸入すると有毒。 吸入すると腐食性である。 気道刺激を引き起こすおそれ。 眠気又はめまいのおそれ。

**皮膚接触** 皮膚に接触すると有毒。 薬傷を引き起こす。 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。

**眼接触** 重篤な眼の損傷。 眼に対する不可逆な損傷を引き起こすおそれがある。

**皮膚腐食性／刺激性** 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性** 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 重篤な眼の損傷。 薬傷を引き起こす。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性** アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

**生殖細胞変異原性** 変異原性が知られている又は変異原性が疑われる物質を含んでいる。 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 遺伝性疾患のおそれの疑い。

**発がん性** 発がん性が知られている又は発がん性が疑われる物質を含んでいる。 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 発がんのおそれ。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学名又は一般名	日本	IARC
クレゾール 1319-77-3	2	-
フェノール 108-95-2		Group 3
ホルムアルデヒド 50-00-0	1A	Group 1
結晶質-石英	1A	Group 1

14808-60-7		
ニトロベンゼン 98-95-3	2	Group 2B
アニリン 62-53-3	1B	Group 2A

## 凡例

## 国際がん研究機関

- グループ1 - ヒトに対する発がん性がある
- グループ2A - ヒトに対する発がん性がおそらくある
- グループ2B - ヒトに対する発がん性が疑われる
- グループ3 - ヒトに対する発がん性について分類できない

## 生殖毒性

生殖毒であることが知られている又は疑われる物質を含んでいる。成分に対して利用可能なデータに基づく分類。生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

## 標的臓器影響

中枢神経系。眼。神経系。視神経。胃腸管 (GI)。心臓。腎臓。肝臓。肺。呼吸器。皮膚。

## 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

国又は地域で採用され、SDSが準拠している世界調和システム (GHS) の分類基準に基づき、この製品は急性のばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。飲み込むと臓器の障害。皮膚に接触すると臓器の障害。呼吸器への刺激のおそれ。眠気又はめまいのおそれ。

血液系、心臓血管系、中枢神経系、腎臓、肝臓、呼吸器。視覚器、全身毒性、神経系。

## 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

血液系、心臓血管系、中枢神経系、腎臓、肝臓、呼吸器。視覚器。

## 誤えん有害性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

## 未知の危険有害性物質の濃度

混合物の 56.3784 % は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
クレゾール - 1319-77-3	-	LC50: =12.8mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: =10mg/L (96h, Lepomis macrochirus)	-
メタノール - 67-56-1	-	LC50: =28200mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: >100mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: 19500 - 20700mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: 18 - 20mL/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: 13500 - 17600mg/L (96h, Lepomis macrochirus)	-
フェノール - 108-95-2	EC50: =46.42mg/L (96h, Pseudokirchneriella subcapitata) EC50: 0.0188 - 0.1044mg/L (96h, Pseudokirchneriella)	LC50: 11.9 - 50.5mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: 20.5 - 25.6mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: =32mg/L (96h,	EC50: 4.24 - 10.7mg/L (48h, Daphnia magna) EC50: 10.2 - 15.5mg/L (48h, Daphnia magna)

	subcapitata) EC50: 187 - 279mg/L (72h, Desmodesmus subspicatus)	Pimephales promelas) LC50: 5.449 - 6.789mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: 7.5 - 14mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: 4.23 - 7.49mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: 5.0 - 12.0mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: =13.5mg/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: 11.9 - 25.3mg/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: =11.5mg/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: 34.09 - 47.64mg/L (96h, Poecilia reticulata) LC50: =31mg/L (96h, Poecilia reticulata) LC50: =27.8mg/L (96h, Brachydanio rerio) LC50: =0.00175mg/L (96h, Cyprinus carpio) LC50: 33.9 - 43.3mg/L (96h, Oryzias latipes) LC50: 23.4 - 36.6mg/L (96h, Oryzias latipes)	
ホルムアルデヒド - 50-00-0	-	LC50: 22.6 - 25.7mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: =1510µg/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: =41mg/L (96h, Brachydanio rerio) LC50: 0.032 - 0.226mL/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: 100 - 136mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: 23.2 - 29.7mg/L (96h, Pimephales promelas)	EC50: 11.3 - 18mg/L (48h, Daphnia magna) LC50: =2mg/L (48h, Daphnia magna)
ニトロベンゼン - 98-95-3	EC50: =44.1mg/L (96h, Pseudokirchneriella subcapitata) EC50: 3.45 - 38.13mg/L (96h, Pseudokirchneriella subcapitata) EC50: 36 - 88.8mg/L (72h, Pseudokirchneriella subcapitata)	LC50: 40.49 - 47.51mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: =92.2mg/L (96h, Brachydanio rerio) LC50: 36 - 49mg/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: 121 - 150mg/L (96h, Poecilia reticulata)	EC50: =33mg/L (48h, Daphnia magna) EC50: 25.6 - 42mg/L (48h, Daphnia magna)
アニリン - 62-53-3	-	LC50: 68.4 - 83.4mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: 40.7 - 59.1mg/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: 7.4 - 15.3mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: 12.6 - 108mg/L (96h, Oryzias latipes) LC50: 101 - 131mg/L (96h, Poecilia reticulata)	-

残留性・分解性

情報なし。

## 生態蓄積性

## 成分情報

化学名又は一般名	分配係数
クレゾール 1319-77-3	2.33
メタノール 67-56-1	-0.77
フェノール 108-95-2	1.47
ホルムアルデヒド 50-00-0	0.35
ニトロベンゼン 98-95-3	1.86
アニリン 62-53-3	0.91

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

他の有害影響 情報なし。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 内容物／容器を適用される現地、地域、国、及び国際規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

## 14. 輸送上の注意

日本 規制対象外

IMDG 規制対象外

**MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質**  
情報なし

IATA 規制対象外

## 15. 適用法令

国内規制

**2023年3月31日迄** 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

該当する、詳細情報については項目3を参照

**2023年4月1日以降** 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

該当する、詳細情報については項目3を参照

## 労働安全衛生法

## 健康診断を要する有害物質

健康診断 - 労働安全衛生法第66条、労働安全衛生法施行令第22条、及び特定化学物質等障害予防規則、別表第5  
有機溶剤等（有機則）

第2種有機溶剤等 - 労働安全衛生法施行令別表第6の2（第6条、第21条、第22条関係、及び有機溶剤中毒予防規則）  
表示対象物質

法第57条、施行令第18条第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表3

#### 通知対象物質

法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表3

#### 労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度

作業環境測定を行うべき作業場（労働安全衛生法施行令第21条及び作業環境評価基準 - 実行上の管理レベル）。詳細な仕様については、SDSの項目8を参照。

#### 強い変異原性が認められた化学物質

変異原性が認められた新規化学物質（労働安全衛生法第57条の3第3項、労働基準局局長通達）。

#### 腐食性液体

労働安全衛生規則 第326条第1項に示される、ホースをとおして、動力を用いて圧送する作業を行わせる事業者が特別な措置を講ずる必要のある腐食性液体

#### 毒物及び劇物取締法

劇物 - 毒物及び劇物取締法別表第2及び毒物及び劇物指定令第2条

#### 消防法:

引火性液体、第4類、第3石油類、非水溶性液体、危険等級 III、2000リットル

#### 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）

下表は、記載されている、該当すると考えられるカットオフ値を超える成分を示す

化学名又は一般名	CAS番号	化審法
クレゾール	1319-77-3	優先評価化学物質
フェノール	108-95-2	優先評価化学物質

#### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

#### 労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

#### 水質汚濁防止法

人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の3で定める指定物質

#### 下水道法

下水道法第12条の2及び下水道法施行令第9条の4

#### 水道法

水道法第4条、法定水質基準

水道法 - 要検討項目

#### 大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第17条、第1項及び大気汚染防止法施行令第10条で定める事故時の措置の対象となる特定物質

大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物

大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質（HAP）

#### 国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

#### 国際インベントリー

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

## 16. その他の情報

発行日

12-12-2022

改訂日 12-12-2022

改訂記録 第1版。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8:ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA (時間加重平均)	天井値	最大限界値
*	経皮吸収	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

米国環境保護庁ChemViewデータベース  
欧州化学品局  
欧州食品安全機関 (EFSA)  
EPA (米国環境保護庁)  
急性ばく露ガイドラインレベル (AEGL)  
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法  
米国環境保護庁高生産量化学物質  
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)  
危険有害性物質データベース  
国際統一化学情報データベース (IUCLID)  
製品評価技術基盤機構 (NITE)  
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構 (NICNAS)  
NIOSH (米国労働安全衛生研究所)  
米国医学図書館ChemID Plus (NLM CIP)  
米国国家毒性プログラム (NTP)  
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース (CCID)  
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書  
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム  
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット  
世界保健機構

#### 免責事項

この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり

輸入・販売者  
株式会社桐野商会  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-4 神田第4パークビル2階  
電話: 03-5825-4427  
ウェブサイト: <http://www.kiri-no-shokai.jp>  
電子メールアドレス: [info@kiri-no-shokai.jp](mailto:info@kiri-no-shokai.jp)